

参加者
募集!

令和6年度恩納村博物館講座 「ウミガメのヒミツを知ろう!-ウミガメの一生-」

水族館でも人気のウミガメですが、恩納村にもウミガメが産卵のため上陸するビーチが数カ所確認されています。意外と身近にいるウミガメについて、今回は一般財団法人 沖縄美ら島財団 美ら島自然学校スタッフからウミガメの生態や特徴について紹介していただきます。甲羅やウミガメ剥製(アオウミガメ・タイマイ)もやってきます。講座をとおして、生物保護や自然環境の保全について考えてみませんか。



砂浜で孵化したウミガメの赤ちゃん

開催日時 9月22日(日) 14:00~15:30

会場 恩納村博物館 1階研修室

主な対象 小学校3年生~中学校3年生 ※一般の方も参加可能です

定員 30名(事前申込制先着順、村民優先)

参加費 無料

参加申込 村民の方.....8月30日(金)~9月15日(日) 17:00
村外にお住まいの方.....9月7日(土)~15日(日) 17:00

申込方法 申込フォーム (<https://logoform.jp/f/2YwCk>)



前回の講座の様子

申込
フォーム



村内で確認される両生類の紹介

オキナワイボイモリ

幼生の一時期を除いて、生涯の大部分を陸上で生活する原始的なイモリです。体の大きさは、尾も含めると13~17cm程度です。体の側面に張り出した肋骨がイボのように見えることから「イボイモリ」と呼ばれています。沖縄島ではうるま市以北に普通に見られるが、南部の南城市にも生息しているようです。恩納村での生息は戦前から知られており、『恩納村誌』自然編の調査では伊武部、名嘉真、喜瀬武原、安富祖、瀬良垣、恩納、屋嘉田、赤間、谷茶、富着、仲泊、山田、塩屋、宇加地で見つかり、ほぼ全域で普通に生息していることが確認されています。各地で成体だけでなく、幼生、卵も見つまっていることから、恩納村内で繁殖していることも確認されました。

博物館ではイボイモリが希少野生動植物種に指定されているため、レプリカを製作しました。



- 沖縄県レッドデータブック:絶滅危惧Ⅱ類
 - 環境省レッドデータブック:絶滅危惧Ⅱ類
 - 沖縄県指定天然記念物
 - 国内希少野生動植物種
- ※国内希少野生動植物種は、「種の保存法」に基づき、個体の捕獲・採取や譲渡し等が原則として禁止されています。

【参考文献】恩納村誌編さん委員会 2014『恩納村誌』第1巻 自然編